

2024 年 9 月 3 日 全 7 頁

消費データブック（2024/9/3 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

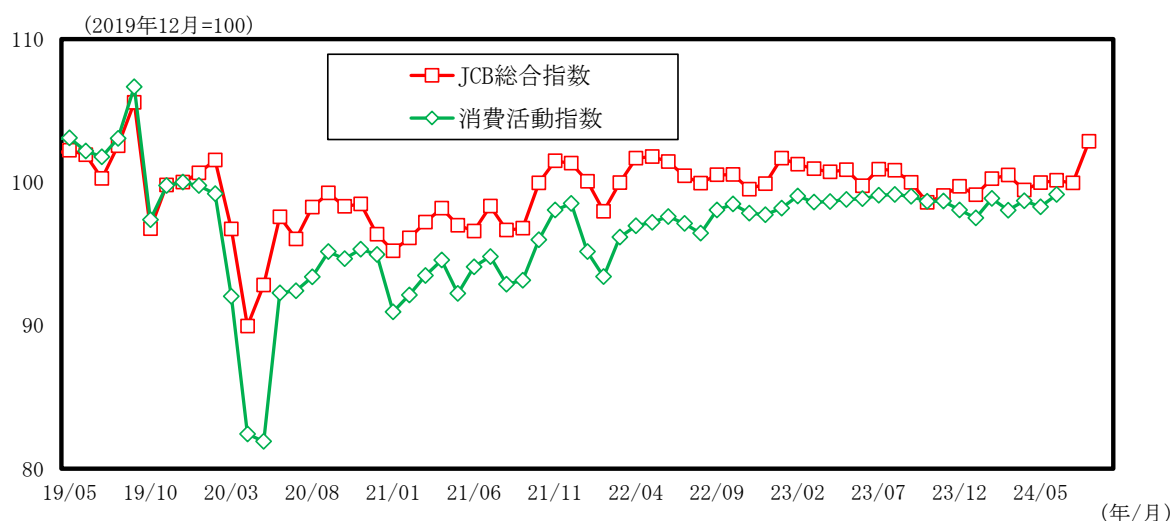
【要約】

- 2024 年 7 月の消費は 6 月から小幅に増加したとみられる。財消費のうち、百貨店商品販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の 19 年同月比で 6 月から伸び率が低下した。他方、アパレル販売額は 6 月からマイナス幅が縮小した。新車販売台数は 6 月から増加した（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、宿泊者数と外食売上高の伸び率（19 年同月比）は 6 月から上昇した。
- 8 月の消費は 7 月から小幅に減少したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社のうち 2 社の既存店売上高は 2019 年同月比で 7 月からプラス幅が縮小した。アパレル大手企業のうち、既公表のしまむらの既存店売上高は 7 月からプラス幅が縮小した。新車販売台数は 2 カ月ぶりに減少した（大和総研による季節調整値）。サービス消費では、山陽以外の新幹線輸送量は 19 年同月比で 7 月から伸び率が低下した。JCB が集計した外食消費額は 7 月から増加した一方、宿泊消費額は減少した（いずれも大和総研による季節調整値）。

＜消費全体の動き＞

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 8 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額は前月比+2.9%だった。内訳を見ると、財、サービスともに前月から増加した。ただし、8 月前半の伸び率から試算したものであり、後半には台風等の影響で消費が停滞した可能性があることには留意が必要だ。

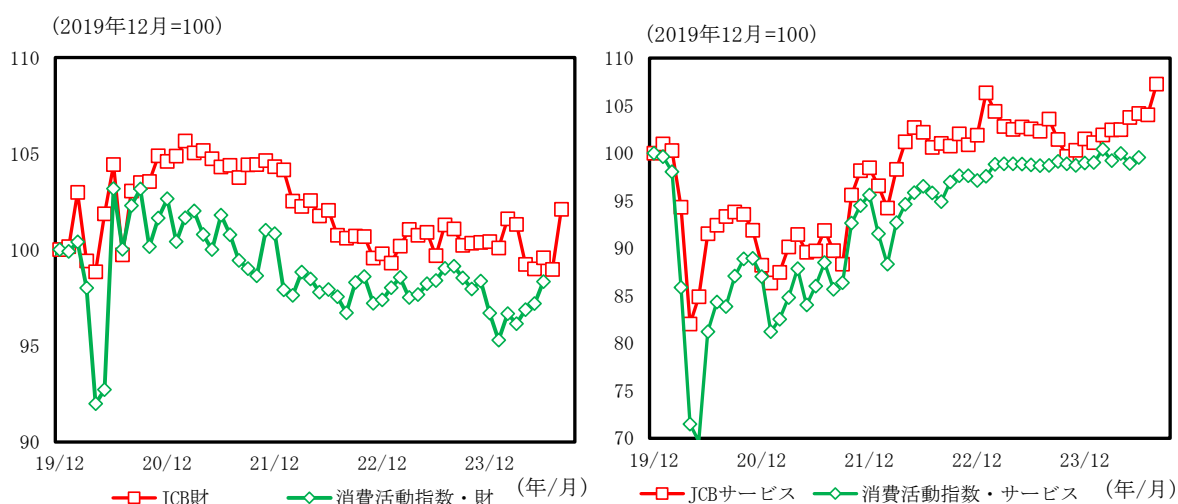
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 8 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 8 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

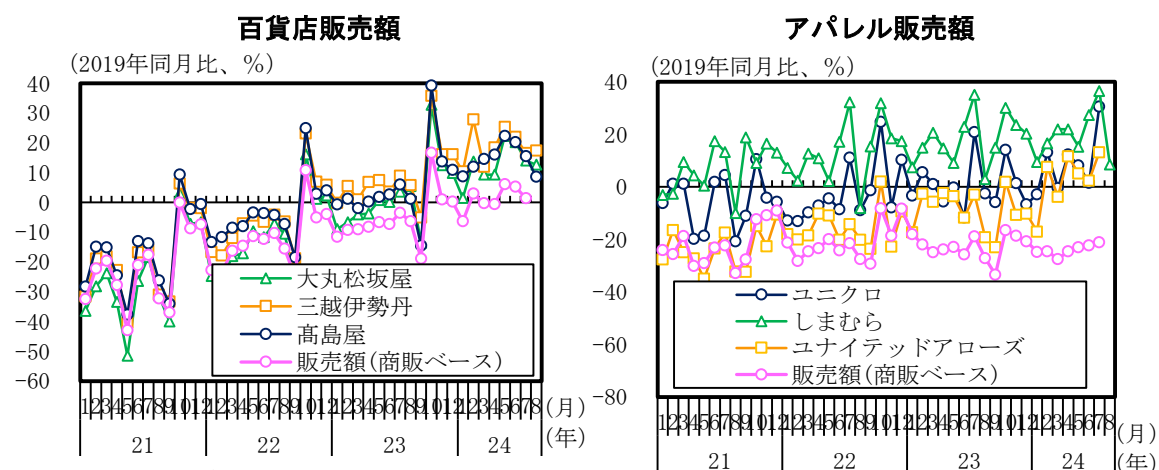
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

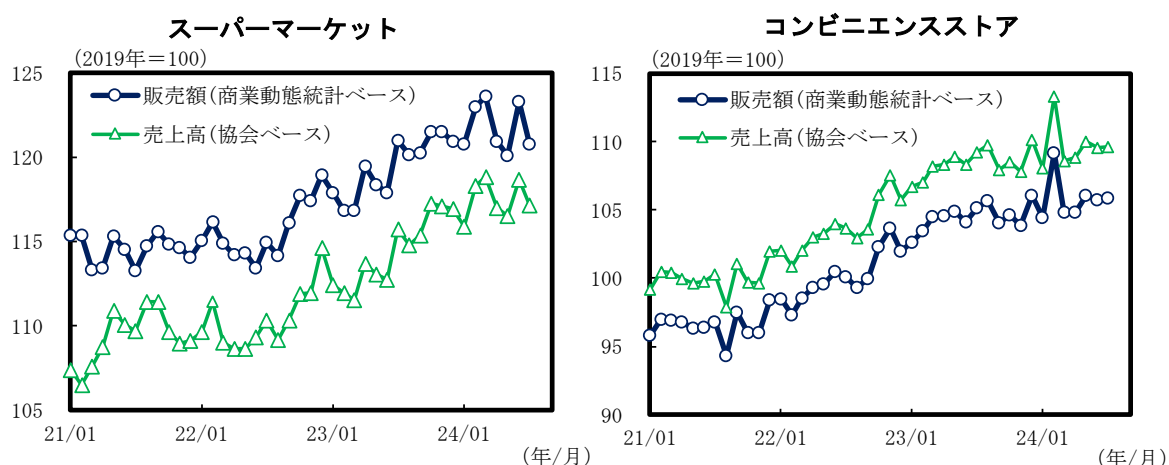
- ◆【百貨店】 24年7月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比で伸び率が前月から低下した。24年8月の百貨店大手3社の既存店売上高はうち2社で同+9～17%程度と前月からプラス幅が縮小。台風等の影響が表れたとみられる。
- ◆【アパレル】 24年7月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。24年8月のアパレル大手企業のうち、既公表のしまむらの既存店売上高は前月からプラス幅が縮小。

図表3：百貨店・アパレルの販売額



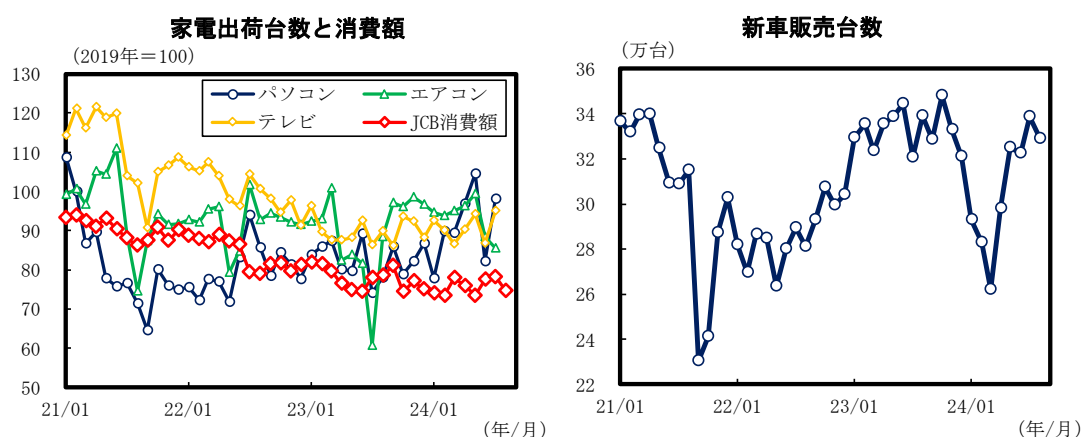
- ◆【スーパーマーケット】 24年7月の販売額は前月比▲2.0%（大和総研による季節調整値）。衣料品や飲食料品などの販売額が減少。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年7月の販売額は前月比+0.1%（大和総研による季節調整値）。サービス売上高は減少も加工食品の販売額などが増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】24年7月の出荷台数はパソコンが前月比+19.4%、テレビが同+9.7%、エアコンが同▲3.1%（いずれも大和総研による季節調整値）。24年8月のJCB消費額（機械器具小売業）は同▲4.6%と3カ月ぶりに減少（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年7月の新車販売台数は前月比+5.0%。24年8月は同▲2.9%と2カ月ぶりに減少（大和総研による季節調整値）。生産体制の正常化は進んでいるが、台風等の影響で客足が伸び悩んだ影響が一部に表れているとみられる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



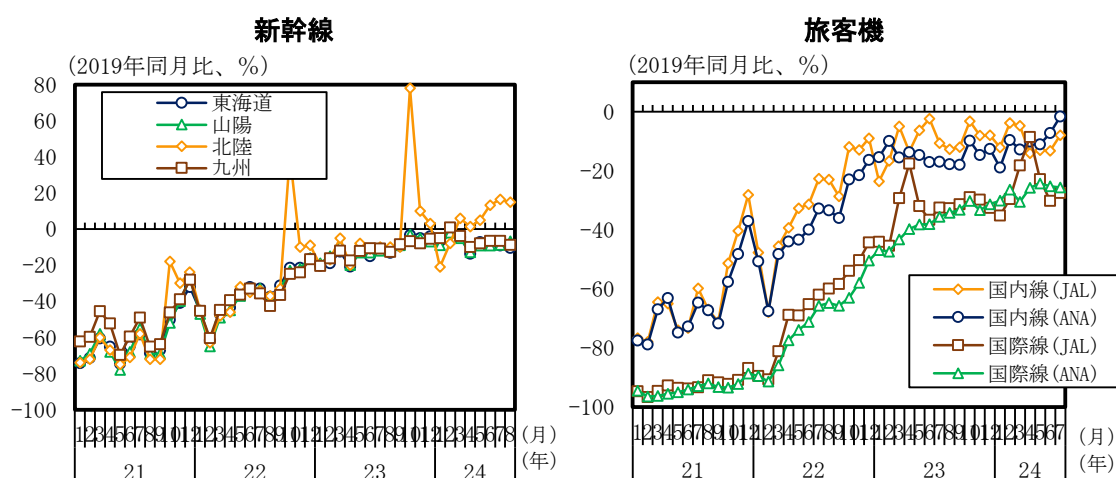
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年8月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年7月の輸送量は19年同月比▲9～+16%程度。24年8月の輸送量は同▲11～+15%程度と山陽以外では伸び率が低下。
- ◆【旅客機】24年7月の国内線輸送量は19年同月比で▲8～▲2%程度、国際線輸送量は同▲28～▲26%程度。堅調な観光需要を受け、航空各社は24年度下期の旅客便供給量の拡大を発表した。

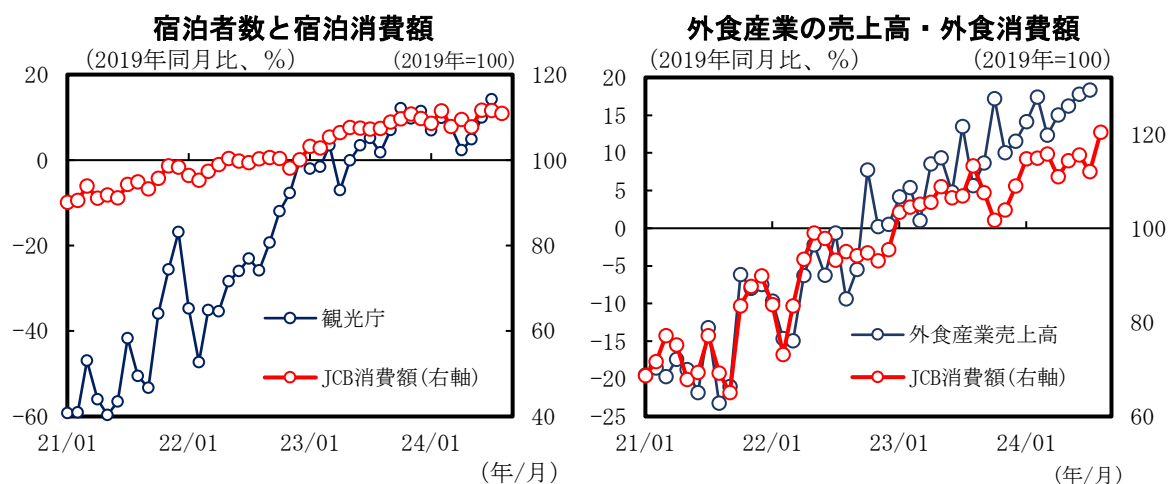
図表6：新幹線・旅客機の利用状況



(注) 24年8月の東海道は22日、山陽と北陸は18日、九州は20日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。
(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 24 年 7 月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は 19 年同月比+14.2%と前月からプラス幅が拡大。24 年 8 月の JCB 宿泊消費額は前月比▲0.7%。
- ◆【外食】 24 年 7 月の外食産業の売上高は 19 年同月比+18.4%と前月からプラス幅が拡大。24 年 8 月の JCB 外食消費額は前月比+7.5%。

図表 7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

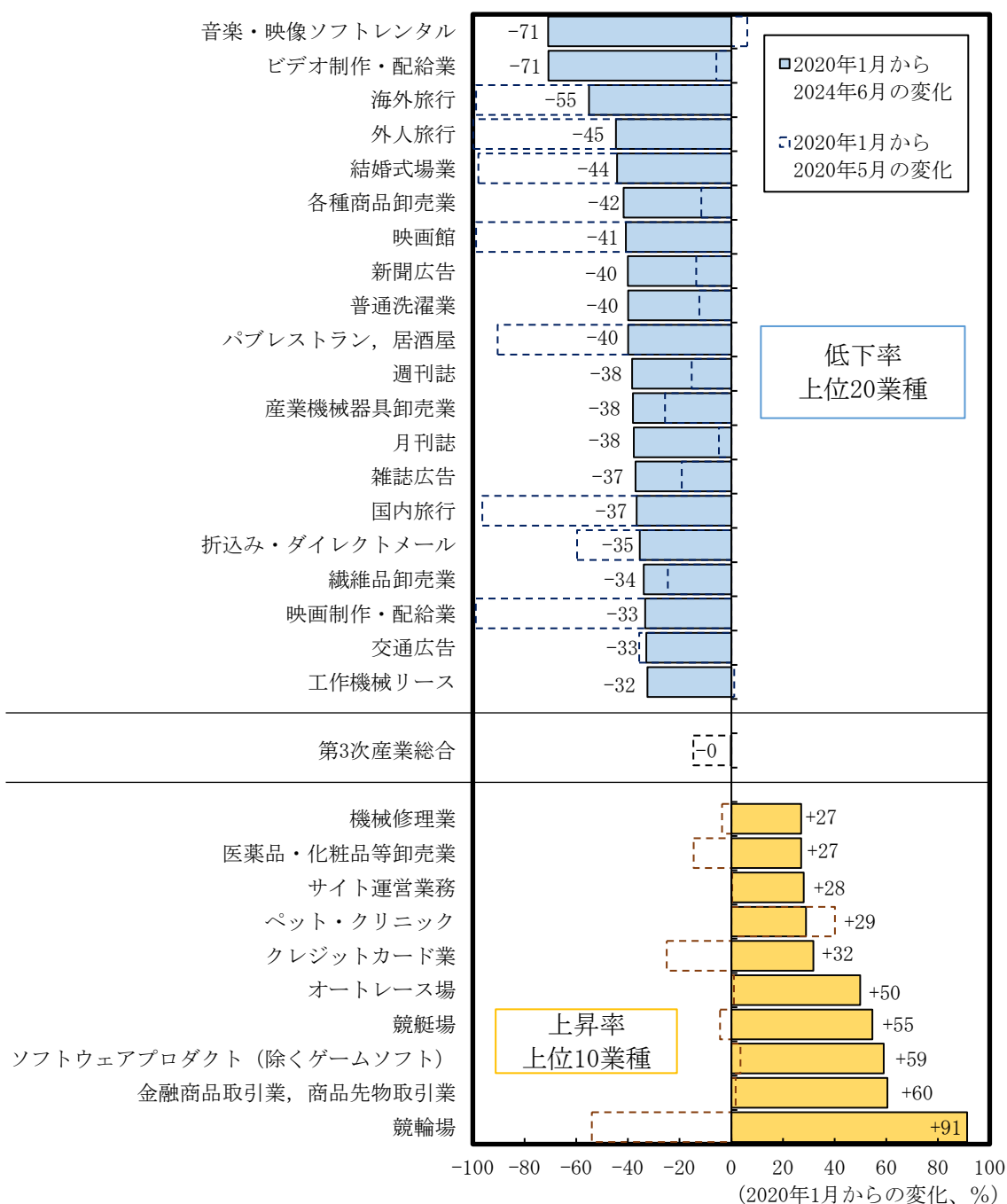


（注）大和総研による季節調整値。24年8月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

（出所）観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

＜参考：第3次産業活動指数＞

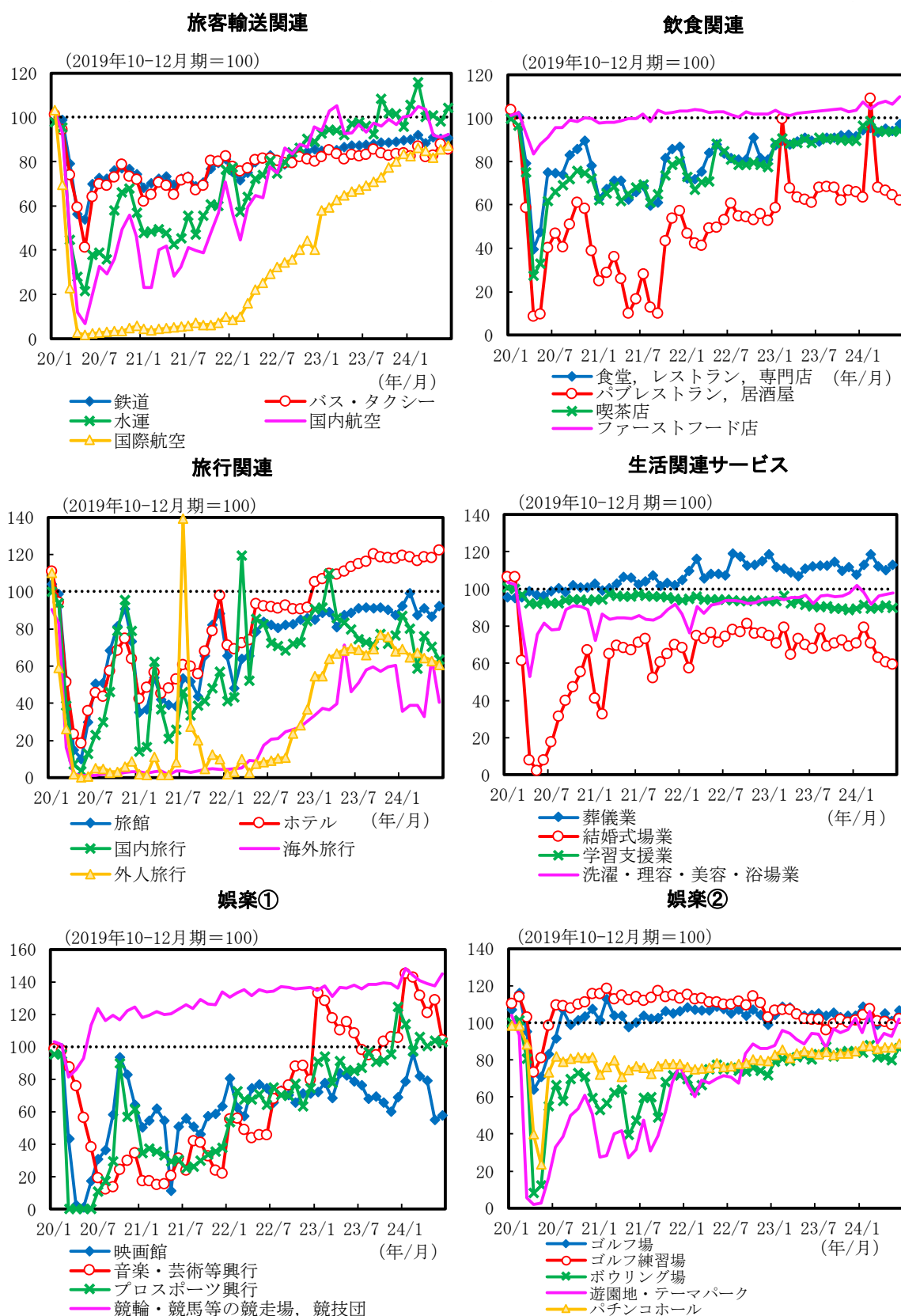
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年6月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年6月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 8-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成